

研究区分	教員特別研究推進 地域振興
------	---------------

研究テーマ	プロ野球本拠地球場の開場に起因する観光変容を主とした町への影響				
研究組織	代表者	所属・職名	経営情報学部経営情報学科・教授	氏名	内海 佐和子
	研究分担者	所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
	発表者	所属・職名	経営情報学部経営情報学科・教授	氏名	内海 佐和子

講演題目
プロ野球本拠地球場の開場に起因する町への影響
研究の目的、成果及び今後の展望
【研究目的】かねてより静岡市が行ってきたプロ野球地元球団創設構想により、プロ野球球団（NPB）の誘致に成功し、本拠地を清水庵原球場とする、くふうハヤテベンチャーズ静岡が2024年からプロ野球2軍のウェスタン・リーグに66年ぶりに新規参入した。この誘致に際し静岡市が実施した市民アンケートによると、清水庵原球場の本拠地化には70%が賛成であったが、本拠地化による懸案の上位2つは、球場周辺の交通渋滞（62%）、球場周辺の迷惑駐車（48%）であった*1*1:https://www.city.shizuoka.lg.jp/000969094.pdf。そこで本研究では、類似事例である、2023年3月に北海道北広島市で開場した北海道ボールパークを研究対象とし、この開場に起因する周辺地域への観光変容を主とした変容実態および町への影響を把握する。両球場は、1. 周辺地域が既存の市街地ではない、2. アクセスする公共交通機関が乏しい、3. 新規でNPBの本拠地球場になったなど共通点が複数ある。加えて、清水庵原球場で懸念されている球場周辺の交通渋滞や球場周辺の迷惑駐車が開業1年目にして発生、問題化している。よって、先行する類似事例である、北海道ボールパーク周辺地域の観光変容を主とした変容実態および町への影響を把握することで、将来、観戦客の増加が予想される清水庵原球場の周辺地域への今後の計画に対する知見を得ることを本研究の目的とする。 【研究成果】本研究は2023年度に一般研究経費により着手した。初年度は基礎資料収集、北広島市役所商工業振興課および都市計画課との情報交換、北広島市民との意見交換、第1回現地調査を実施した。2年目となる2024年度はこの教員特別研究推進費により、第2回現地調査、北海道ボールパークの利用経験者である道民に対しヒアリング調査を行った。そこから、1. 町の変容が起こりにくい一因、2. 路上駐車の一因、3. 路上駐車されやすいエリア、4. 観戦客の実際の動線などを把握した。また、ふじのくに地域・大学コンソーシアムの令和6年度ゼミ・研究室等地域貢献推進事業助成金で採択された課題「くふうハヤテベンチャーズ静岡ホームゲーム魅力創出プロジェクト」の提案検討時に、本研究で得た知見が一助となった。 【今後の展望】今後、北海道ボールパーク近くに新駅が建設されると、観戦客の動線や利用交通手段は変化すると推測されるため、観察調査を継続し、変容実態およびその要因を把握する必要がある。